

第19次「モンゴル産業・文化視察団」報告

■ 日程 6月9日(月)～14日(土)

■ 参加者

- 団長 山越敏雄 長野県労働金庫
 団員 加藤 茂 情報労連・松本写真
 団員 塚田守正 情報労連・上田写真
 団員 山田和敏 自治労・県本部 総務
 団員 原 和博 連合・長野 記録
 団員 原田岳志 県経営者協会 会計
 団員 原田和恵 一般

■ 目的

- 農牧産業・鉱工業工場の視察
 ○ ダルハン市労使代表との親善交流
 ○ 在モンゴル大使館訪問
 ○ 首都ウランバートル視察(カシミア・フェルト工場などの視察、ガンダン寺・自然史博物館などの見学)
 ○ 伝統的民族舞踊鑑賞
 ○ ツーリストキャンプでの遊牧文化体験(遊牧民ゲル訪問、乗馬など)

■ 基本行程

- 6月9日(月) 成田空港発 ウランバートル・ホテル泊
 6月10日(火) ウンドルシレット・キャンプ場泊
 6月11日(水) キャンプ場泊
 6月12日(木) ウランバートルへ
 6月13日(金) ウランバートル市内視察
 6月14日(土) 成田空港着

◆旅の記録◆



ガンダン寺前にて記念撮影

6月9日(月) 曇り・小雨
 記録 塚田守正 山田和敏

15:00 成田空港、第1ターミナル南ウイングに全員集合。期待と不安のまま搭乗。
 17:35 離陸
 外は小雨。雲に突入してから揺れが激しい。飲み物がこぼれそう。機内食は不評。

21:20 ウランバートル チンギス・ハーン空港着陸
 夜9時半だというのに、まだ少し日がある。入国審査はソワソワと重なり、かなり混雑。

22:30 迎えの現地ガイド、エギーさんと運転手ホルトさんと対面。
 23:00 ホテル着
 「ミッシェルホテル」着。全員集合、タイガービールで乾杯！改めて自己紹介。旅の安全と楽しい旅を誓い合う。

6月10日(火) 強風・小雨
 5:30 薄明かりに空を見上げると小雨。
 7:30 朝食。バイキング形式。どん

な料理が出るかと思ったら、日本のホテル並。
 8:45 キャンプ場へ出発。ウランバートルは昨夜より雨。「日本人が雨を連れてきてくれた。ありがとう」とエギーさん。車はワンボックスのベンツ。

9:30 植林場見学。
 ウランバートル郊外の植林場を見学。乾燥した大地など厳しい環境だが、遅く育ってもらいたい。
 10:30 ウランバートルを離れ、一路ウンドルシレット・キャンプ場へ向かう。はじめは平原を物珍しく眺めていたが、やがて舗装道路が切れ、いよいよ荒野へ突入。

12:00 昼食。
 強風のため、車中にて弁当。箸袋にハンゲル文字。蓋を開けると、ご飯・すし・パンの炭水化物三昧。タンがちょっとグロテスク。昼食後、再び荒野を進む。相変わらず激しく揺れる。

16:10 ウンドルシレットキャンプ場に到着。強風の中、青いTシャツ姿の若いスタッフが走って出迎え。無事到着を祝い、冷えたタイガービールで乾杯！トラ川が大きく蛇行しながら流れている。水を飲む馬も見える。雄大な景色が果てしなく広がる。雨不足のため、川の水量も様も少ない。地球温暖化の影響か。

19:30 夕食
 レストランゲルに集合。日本人の舌に合う味付け。キャンプ場の日本人女性スタッフ小山久子さんが調理。

20:30 反省会(二次会)

2号ゲル(山越さん、塚田さん、加藤さんのゲル、いつも加藤さんのいるところに集合)して二次会。エギーさんとホルトさんも一緒。疲れもあるため早めに就寝。

6月11日(水) どこまでも晴れ 快晴
 01:30 天体観測。

雲がなくなり満天の星。夜空を切り裂くような天の川。時折、流れ星が頭上をかすめ、人工衛星が上空を通過。天体ショーを満喫。



ウンドルシレット・キャンプ場の日の出

05:15 日の出。

昨日の強風と砂埃は、夜半の適度なお湿りでなくなり、心地よい。山田、原の二人は早々に釣りに出かける。

08:00 朝食。

メニューはホテルと一緒。朝食後、散歩したら、川に馬、ヤギ、羊の群れが次々と水を飲みに来る。微風で爽やか。

10時から乗馬だというが、そこは、おほかから、のんびりしたモンゴル時間。

11:00 乗馬・釣り・ボートでの川下りなど、各自オプショナルでモンゴルの大自然に触れる。
 途中、現地の方が日本の歌を披露